

市の課題・まちづくりの方向性に係る意見シートまとめ（8月）

<1 第1回策定協議会を踏まえた市の課題について>

【施策の大綱別】

1 人材育成について【人づくり】	
・官民共同による進め方 抽象的な表現になりますが、現状もこのような事で進められていると思いますが、やらされ感があると、なあなあで終わってしまいますので、「とことんやるんだ！俺についてこい！」みたいなカリスマ的リーダーの育成ができればと言うか、必要では！？	八木健二
・学校（小・中・高校）と行政、地域が密接に連携協力し、 <u>地域の課題を子どもから大人に至るまで共に考え、解決に向けて動く仕組みづくり</u> を進めたい。	望月保宏
・だれもがまちづくりを実行できる (4・8月の2回だけでなく、日々自宅の周囲の草取りそうじ、道、川、等)	岡田廣正
2 観光について【産業づくり】	
・五龍の滝、景ヶ島等の「自然遺産」、須山浅間神社、葛山城址、深良用水等の「歴史遺産」についてもっと情報を発信し、 <u>観光資源として活用したい</u> 。首都圏からも近く、 <u>ありきたりのテーマパーク等に飽きた人たちの心をくすぐるような仕掛けができる</u> ないか。	望月保宏
・通過点にならないようなまちづくり ・ <u>富士山周辺に来るインバウンドへの対策</u>	三ツ石純子
・身边にある豊かな自然や富士山を活用できておらず、 <u>インバウンド需要</u> を活かしきれていない。	高木茂
3 交通問題について【基盤づくり】	
・幹線道路の交通渋滞の激化と公共交通の衰退 朝晩の県道沼津小山線や国道246号の交通渋滞はひどい。通勤や通学に自家用車を利用する生活習慣が定着している。一方、路線バスの運行路線や便数は減少し、益々利用しにくくなっている。 <u>このままでは自家用車がないと生活できないまちになる。</u>	植松静夫
4 市街地整備について【基盤づくり】	
・中心市街地のにぎわいの減少 裾野駅前通りは商店が減少し商店街とは言えない状況である。土地区画整理事業の進捗と並行して、 <u>人が集まる仕掛けやにぎわいづくりを考え、歩いて楽しい魅力ある街づくりを進める必要がある</u> （参考資料あり）	植松静夫
・駅前開発を早急に終わらせる 糾余曲折がありこの様な状態になっていますが、後戻りできないので、一日でも早く工事を終わらせて、 <u>新しく生まれ変わった裾野駅前を市民に見せて自慢させて欲しい</u> ものです。 ※工事期間が長すぎる。	八木健二
・目下、裾野市では観光客のニーズに応え得る宿泊施設や商業施設が絶対的に不足している状況であるように思う。観光インバウンドによる地域の活性化を図るために、ホテル・ショッピングセンター等を組み合わせた複合施設を駅近くにつくりたい。	望月保宏
・現在、裾野駅を <u>都市交流拠点</u> と位置付けているが、行き詰っていると思う。 <u>裾野、岩波両駅の中間点</u> には文化センター、健康福祉社会館、生涯学習センター等があり、又、その周辺は未だ多くの農作地があり、 <u>新たな町づくりの可能性を秘めている</u> 。千福ヶ丘から下り、直進して農道に至る道路は、須山街道、246、旧246、市民体育館から北へ上ってくる道路、農道の主要道路と交わっている。この道路沿線を中心に新しい町づくりを考えていったらどうか。	杉田博道

	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転が生活道路（4M）でできるか？ ・人が交流できる広場と公園一現存する公園・神社・広場では不足？ 	岡田廣正
	<ul style="list-style-type: none"> ・集客の核となる大型商業施設や娯楽施設（人が行きたくなる場所）の不在 (近隣では御殿場：プレミアムアウトレット、三島：スカイウォーク、沼津：港新鮮館、深海魚水族館、らっぽーと等の集客力の高い施設有り。裾野市は娯楽施設はあっても、中心市街地を不通過かつ遠方。) ・裾野駅西土地区画整理事業の先行き不透明感（当初計画より相当の月日が経過しており、再度費用対効果分析が必要では？）行政の柔軟かつ迅速な対応、戦略的な施策展開 	高木茂
5 魅力づくり、周知・PRについて【全体】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、裾野にあるものが有効的に活用されていない、又、市民に周知されていない 	三ツ石純子
	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションの弱さ 市民が裾野市に誇りに感じ、市外の方が遊びに行ってみたい、住んでみたいと思わせるためには、メディアへの広報・情報発信が重要である。 熱海市では積極的なメディア活用がブランド力向上に大きく寄与したが、裾野市ではシティプロモーションに取り組んでいるように感じられない。（参考資料あり） 	植松静夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・裾野市と言ったら「〇〇の町」というものをつくる。市の魅力、他の人々にアピールできるものがない。 	坂田佳代子
	<ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率は周辺都市より高いというデータがある中で、人口が減少していく。というのは、仕事の転勤だけの問題であるとすれば、もっと企業の誘致が必要だと思います。それ以外にも問題点があるならば、それらは何か、具体的に調べ、定住人口を増やすために、若い人達が魅力を感じられる裾野に住みたい！と思えるような町づくりを目指して欲しいと思います。例えば、商業施設・娯楽・観光に力を入れるなど、お金の使い方をもう一度検討して欲しいです。 	成田千恵美
6 協働・連携のまちづくりについて【全体】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員を市民が協働で行う学習や活動一意識の共有 ・裾野市のストレングスは？行政と市民で共有できている？一致している？ ・地域ごとの特性をどう生かすか＝地域力 ・近隣自治体との連携 例）特に大きな公共施設は近隣自治体と連携しその特色にあった運営方法などを検討し維持管理していく。無くすことが全て解決策になるとは思えない。無くしてしまうことでその文化や活動が衰退してしまうリスクもある。 ・「自分ごと」と思っている市民がどれだけいるか ・大手企業に頼るのでなく、その特性を生かしたまちづくり 	三ツ石純子
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民協働」や「市民自治」といった市民が主体となってまちづくりに取り組むことを促すような意図が薄い感じがしました。人口減少が進む局面において、市民のまちづくりへの参加は必要不可欠で、それもただのお手伝いではなく、主体的に取り組むことが求められることは避けられないと考えます。どうすれば、市民がまちづくりに主体的に参画してくれるのか？そのことに取り組む（=課題とする）意図をもっと示したほうがいいと感じました。 	深野裕士
7 行政運営について【全体】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・本気で行政を改革する必要がある。効率、柔軟な発想、迅速な行動力が求められる。 ・財政が厳しい時に、1) 削減するもの（その基準）、2) 積極的に財源を増やす策の両方を講じるべき。 ・何年も前から「課題」は指摘されているのに、明確に改善されていない、効果的な政策がとられていない、根源に切り込むべき 	坂田佳代子

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に関心を持って貰うような市政 ・市民に関心を持って貰うような広報 ・市民に関心を持って貰うような報道活用 	三ツ石純子
	・大手自動車関連企業の撤退に伴う、 人口や税収の減少。	高木茂
8	その他	
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの将来像の話し合いで、いろいろな意見を聞くことができ、又発言することができました。自分の立場（かかわっている団体・グループ）からの発言・個人的に思っていることなど、リーダーの方の努力によりスムーズでした。 ・自分自身、勉強不足のためとても勉強になりました。 	杉山あつ子
	<ul style="list-style-type: none"> ・裾野市の課題の捉え方が大きく（大雑把）すぎるように感じました。同じ市内といつても、各地区ごとに人口構成や住民の属性は異なる。もう少し各地区の実情を踏まえた課題設定が必要ではないかと感じました。 ・国が進める Society5.0=新技術で全ての課題が解決！みたいなことありきで計画を組み立てるのは違和感を感じました。 ・計画を立てる際に、どこに重点を置くのか？優先順位をどのように決めるのか？が明確ではないように感じました。行政主導のまちづくりから「市民協働」によるまちづくりにシフトしていくのか？どう進めるのか、裾野市としての方向性を明確に出すことも課題の一つになると感じました。 	深野裕士

市の課題・まちづくりの方向性に係る意見シートまとめ（8月）

<2 まちづくりのキーワードと方向性について>

【施策の大綱別】

1 シビックプライドを育むまちづくり【人づくり】		
	<ul style="list-style-type: none"> みんながまちづくりに主体的に取り組めるように、地区の枠を超えた「まちづくり協議会」のような話し合いの場を年に何回か設定したらどうか。 	望月保宏
	<p>まちづくりのキーワードの中に「人」の文字が多く使われています。地域活動の活性化が定住人口を増やし、<u>人が集まる町づくり</u>につながると考えます。裾野の“人の温かさ”を最大限に生かし、地域と地域が連携して、<u>市民が自分の町に愛着がもてるような地域町づくり</u>ができるこことを望みます。</p>	成田千恵美
	<ul style="list-style-type: none"> 提示された「まちづくりのキーワードと方向性」からは、裾野市が置かれている状況に対する危機感を感じられない。 現在の裾野市は、企業が転出し人口減少に歯止めがかからず、都市基盤も周辺市町から見劣りする状況にある。 現状の厳しさをきちんと見つめ、どうやって財政と雇用を改善し、市民が誇りを感じられ、外部から人を呼べるような街にするか真剣に考える必要がある。 	植松静夫
	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画 誰にでもわかりやすくシンプルに（A31枚ダイジェスト版にできるくらいで） 実感できるようしなしくみづくり (目指すべき裾野のみらいとは？→それらを実感できるようしなしくみづくり→まちづくりの方向性) 	三ツ石純子
2 多様な世代が暮らし続けられるまちづくり【人づくり】		
	<ul style="list-style-type: none"> みんながまちづくり（×）の主役になれるまち→みんなが主役になれるまち (理由) まちづくりはまちづくりそのものが目的ではないから。多様な人々それぞれが自分の幸福を追求できることが目標であるため。 	坂田佳代子
	<ul style="list-style-type: none"> 優先順位 (それぞれの世代が共感できるみらいづくり/次の世代に責任を持つまちづくり) 	三ツ石純子
3 地域資源を活用したまちづくり【地域づくり】【産業づくり】		
	<ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産の<u>富士山を核にしつつ</u>、他の文化遺産（史跡、天然記念物等）と<u>有機的に連携させた観光プランを創出させたい</u>。また、その機運を盛り上げるため、学校や図書館、資料館等の教育施設を核とした市民の「学びの場」づくりを進めていきたい。 	望月保宏
	<p>一富士山、豊かな自然、実体験ができ一のキーワードについて</p> <p>・<u>裾野にとって富士山は大きな自然財産</u>である。現在<u>富士山資料館</u>が須山にあるが、入管者数、施設の老朽化等の問題がある。また、<u>深良用水</u>は文化センター内で特別展示されているが、更に隧道内の様子がわかりやすく体験できるような工夫が欲しい。</p> <p>現在、市営プールの営業が困難となっているが、この土地と付近の河川せせらぎ公園を利用して、上記二つの<u>新たな裾野の自然を紹介体験できる施設</u>を作りたい。</p> <p>富士山・深良用水より受けている恵みは「水」である。ボーリングして豊かな水資源の町をアピールできる施設として誰もがその清水を持ち帰ることができるようになる。また、河川及び組み上げた水を利用して、深良用水のうす暗い隧道内の様子がわかるような場を作り、来場者がくぐり抜けられ、<u>隧道掘削の体験ができるような施設</u>としたい。</p>	杉田博道
	<p>市民が自慢できる「市・場所・物」造り！！</p> <p>・富士山と観光 「一番美しい富士山が見えるまち 裾野市」</p> <p>この写真（参考資料あり）は30年くらい前に、私がヘルシーパーク入口で撮影したもの（当時はここに看板があった）ですが、この素晴らしい場所に観光客を集客できていない。</p>	八木健二

	<ul style="list-style-type: none"> ・「二階建ての道の駅」建設→規制があることだが、規制緩和の価値あり（一階は物産点、二階はレストランと富士山テラス…花越しに富士山を観る）※「梅の里」の梅の木は成長できていないので、芝桜の丘に変更※ ・裾野市の知名度向上 よく耳にする話ですが、どこから来たの？と聞かれて「裾野市」と答えると何処？何県？となり、「御殿場と三島の間だよ」でやっとわかってもらえる。「市名の変更」富士山裾野市 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然・富士山・開発・保護？ ・インバウンド観光・費用対効果は？ 	岡田廣正
4	安心して暮らせるまちづくり【地域づくり】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が裾野市でより豊かに安心して暮らせるような「まちづくり」に取り組みたいと思います。そのためには、裾野市においてこれから先の未来を展望した時に、現状と比較して何が不足しているのか、何から手をつけるべきなのか（優先順位）を考えたいです。最先端技術を導入するのも悪いことではないでしょう。しかしそれはあくまでもツールであって、導入したからといって課題が解決するものではないと思います。策定協議会に参加されていた皆さんから出ていたキーワードの多くに「人」に係るものが少なくなかったのは、そのことを示しているのだと思います。 	深野裕士
5	コンパクトなにぎわいのあるまちづくり【地域づくり】【基盤づくり】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設、娯楽施設等の人が集まる場所を整備し、若者や子育て世代の人たちが交流し、定着するような環境づくりを推進したい。 ・高齢者が生きる喜びを見出し、いつまでも元気で働くよう、若者と高齢者の交流の場を設けたい。（空き家・空き店舗の活用など） 	望月保宏
	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少による市街化区域の拡大？ ・定住促進・空き家・市街化・オープンスペースの利用したコンパクトシティ 	岡田廣正
6	その他	
	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点やテーマを出し合う中でまちづくりを進めていくための道しるべを示してもらえると進めやすいと思います。 	杉山あつ子
	<ul style="list-style-type: none"> ・人と技術が生きる暮らし→人と産業・技術が生きる暮らし (理由) 経済的な基盤は基本なので、必ず入れるべきだから。 ・暮らしの喜びが感じられるまち暮らしの安心・安全・充実感が得られるまち (理由) 漠然としたことばはわかりにくい。 	坂田佳代子
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標と戦略を検討する中で、今後のまちづくりの方向性は見えてくるものと思うが、これまでを延伸するのではなく、「再生」や「再スタート」などの言葉を用いて改革する決意を表したい。 	植松静夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・納税と費用対効果のあるまちづくり ・非交付団体である裾野のまちづくり評価？ 	岡田廣正
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会動向と市の現状を踏まえ、細かくSWOT分析を実施する。 ・方向性を決定し、PDCA、KPI（定量目標）に落とし込み、管理を実施する。 ・近年裾野市が実行している、「スポーツツーリズム活動」や「データ利活用によるまちづくり推進」「移住者向けの様々な活動や施策」等はまちづくりのキーワードと方向性に沿った活動の一環であり、今後も同様な施策を立案し継続して頂きたい。 	高木茂